

今月のおすすめ図書

◆一般図書

手紙が語る歴史秘話



メイツユニバーサルコンテンツ

毛利元就が三人の息子へ送った家族団結の家訓や、上京した息子・本居宣長を心配する母心など。人物たちの足跡と、息づかいを直筆の手紙とともに紹介。

こちら秘書室公認 接待の手土産 シリーズ



ぐるなび編集 日経MOOK

「ぐるなび」が選んだ、仕事や大切な人に会う時に贈るちょっとした「手土産」の本。全国各地の名産品や人気のお菓子など、バラエティ豊かな品々が満載！

♥児童図書

ピーターサンドさんのねこ



ルイス・スロポドキン／作 清水眞砂子／訳 あすなろ書房

ホタル島の白い家に住む、漁師のピーターサンドさんとねこたちの静かな生活がある事をきっかけに思わぬ展開に…。

ルパン対ホームズ



ルブラン／原作 ポプラ社

今なお根強い人気を誇るルパンとホームズが対決する、ルパンの作者による小説。ホームズの作者は文句を言ったとか言わなかったとか。

ぶらりらいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎22-2612 FAX22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、30日(月末資料整理)

文化講演会「ジョン・スタインベックの文学「ケルトの薄明」の魔法」

アメリカの作家ジョン・スタインベックの作品を「ケルト文化」の観点から読み解きます。

▶講師 酒井 康宏さん

米子工業高等専門学校名誉教授

▶と き 9月18日(日) 午後1時30分～3時30分

(午後1時開場)

▶定員 60人(要申込) ※参加費無料

▶申込方法 電話、FAX、窓口にて

とっとり県民カレッジ連携
令和4年度米子市立図書館文化講演会
ジョン・スタインベックの文学
「ケルトの薄明」の魔法
令和4年9月18日(日)
午後1時30分～3時(1時開場)
無料・要申込
定員60名(先着)
開場前がチケット配布
FAXにて
申し込み受付開始
米子市立図書館
2階多目的研修室
講師
米子工業高等専門学校名誉教授
酒井 康宏 氏
『怒りの葡萄』、『エディンの家』などで知られるアメリカのノーベル賞受賞作家ジョン・スタインベック。「ケルト文化」の観点という、これまで全く知らなかった「文化」の視点で彼の文学を読み解きます。魔法、妖精などにも触れ、ケルト音楽の素敵な演奏とともに皆様をケルト文化の世界へと誘います。
米子市立図書館 0859-22-2612 FAX0859-22-2637
参加申込用紙 9/18(日) 令和4年度米子市立図書館文化講演会 9/19(金)より受付開始

ケルト音楽の素敵な演奏とともに、皆さんをケルト文化の旅へと誘います。

今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会、図書館職員)(☆)
毎週木曜日 午前10時40分

▽おはなしかご(米子おはなしかご)
(☆) 17日(土) 午前10時30分

▽夕方おはなし会(図書館職員)(☆)
13日(火) 午後4時

「各種講座」

▽つつじ読書会『アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か?』カトリン・マルサル著(初めての方☆)
3日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めての方☆)
4日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)
13日(火) 午後3時

14日(水) 午前10時30分
(10月の予約は10月1日(土)午前10時受付開始)

▽百人一首を読み解く

10日(土) 午後1時30分

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

10日(土) 午前10時30分

▽古文書研究会「多比能貫久佐」ほか

24日(土) 午後1時30分

▽伯耆文化研究会「大山のナラ枯れが語るもの」中島佑輔さん「米子城跡の自然」鷲見寛幸さん
10日(土) 午後1時30分

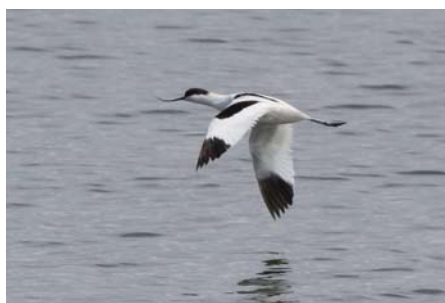


米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

園内を飛ぶアボセツト



アボセツトを捕食した
（と思われる）オオタカ



※アボセツトは、ソリハシセイタカシギの英名（Avocet）です。

水鳥公園は、野鳥のありのままの様子を観察できる施設です。そのため、時にはとても厳しい自然界のおきてを目の当たりにすることがあります。

昨年（2021年）の9月11日の朝、園内にアボセツト（ソリハシセイタカシギ）が1羽現れました。全国的にも珍しい鳥で、一昨年の3月に3羽現れた時は、県内外からお客様が殺到して大騒ぎになりました。今回もまた、お客様がたくさんいらっしゃるかもしれないと喜ぶ一方で、コロナ禍で人の密集を避けるべき状況なので不安もありました。

とても厳しい自然界のおきて

ところが、その日の午後には、オオタカがアボセツトを捕らえて食べてしまいました。園内には他にも多数の水鳥がいたのに、なぜアボセツトが襲われるのか、信じられませんでした。

多くの野鳥ファンに注目されるアボセツトは、園内で毎日獲物を探しているオオタカにとっても、珍しくて目に留まる存在だったのかもしれませんが。

アボセツトの遺体の一部は、標本にして保存されています。珍しい鳥に限って捕食されてしまうことは時々あり、皮肉なものですね。

美術館通信

コレクション展Ⅰ 「はじめまして！新コレクション」

会期 9月4日（日）～10月2日（日）〔水曜日休館〕

米子市美術館では、郷土にゆかりの深い作家の作品と近代以降の版画作品を中心に収集しており、収蔵された作品と資料の数は現在1,900以上に及びます。

今年度の第一弾となるコレクション展では、近年当館の収蔵品に加わった新コレクションを紹介いたします。昨年度米子市美術館後援会から寄贈された金畑実、坂口寛夫、石田整昭、前田進、梅原宏治といった郷土の美術振興に大きな足跡を残した作家の作品や、郷土を離れて活躍した齋鹿逸郎の代表作など、平成28年度以降に収蔵した作品をまとめて展示します。この機会に、新たに米子市美術館のコレクションとなった宝物をご覧ください。

☎ 米子市美術館（☎ 34-2424、FAX 33-0679）



金畑 実《戦没学徒の声》1979年 油彩・キャンバス